

現在、当院産科・婦人科で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

先進医療としての腹腔鏡下広汎子宮全摘の実態に関する調査研究について
(JGOG1081S)

2. 対象となる方

平成26年12月～平成28年12月の間に、早期子宮頸癌（1A2期・1B1期・2A1期）
に対して腹腔鏡下広汎子宮全摘術を施行した症例

3. 研究目的

平成26年12月より早期子宮頸癌に対し腹腔鏡下広汎子宮全摘が先進医療になりました。
この術式は従来の開腹術に比し技術的にも腫瘍学的にも妥当であると報告されていますが、
ほとんどは海外からの報告であり本邦からの報告はほとんどありません。本邦でも現状を
把握する必要があると考えます。

4. 研究期間

平成29年7月（倫理審査委員会承認後）～平成29年12月31日（調査状況により研究
期間が延長になる場合があります）

5. 研究に用いる情報の種類

患者背景 手術 手術の内容 術後 予後など

6. 実施方法

この研究に使用する情報を研究代表機関に提供させていただきます。研究に使用する情
報は匿名化処理を行い、患者さんの氏名やカルテ番号、住所などが特定できないようにし
たうえで提供します。また、患者さんの氏名やカルテ番号を置き換えた番号との対応表も
当院で保管し、当院以外へはできません。

【主な提供方法】データファイルをCDに入力し、研究機関に郵送予定です。

7. 研究組織

特定非営利活動法人 婦人科悪性腫瘍研究機構（JGOG）子宮頸がん委員会

8. 研究代表者及び研究責任者

研究代表者：

がん研有明病院 婦人科 金尾 祐之

大阪大学医学部附属病院 産婦人科 小林 栄仁

当院の研究責任者：

広島市立広島市民病院 産科婦人科 主任部長 児玉 順一

9. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。
また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院産科婦人科 依光 正枝